

山脇 道夫 先生

返信が遅れて申しわけございませんが、5月26日付貴メールにつき、ご返事申し上げます。以下（とくに②は）植松さんの意見も聞いた上での答えですが。

① インド人講演者の招聘について

（インド）政府ではなく学会が主催される以上、インドを招くことに問題はないのではないかと。IAEAなどでは、日本政府代表とインド代表が同席して議論している。但し、VISAの発給、日本の施設訪問許可などに若干手こずるおそれがある。

② 新燃料に関する勉強会について

Th 燃料は日本ではほとんど研究されて来なかった。水素化物燃料は燃料中に H2 原子を含むことにより、中性子減速効果が大きくなり、Pu も含め、H2 との共軛体なら、熱中性子炉で燃焼しやすいという（長期的）利点が可能性としてあるわけですね。産業界はこれら新規燃料に今どこまで興味を示すか不明。よって、原産の支援よりも、当面は学会ベースの問題ではないでしょうか。Th、水素化燃料など新規の燃料体を考えた場合、常に燃料サイクル上の問題（再処理など）を同時に考えることも重要。JNC など今まで研究していないので、まず、学会などでデータを集めておいて、新法人に新基礎研究として持ちこんだら如何でしょうか。

森 一久